

定例公安委員会の開催状況について

令和7年11月13日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 県監査委員による警察本部に対する定期監査の受監結果について

県監査委員による警察本部に対する定期監査の受監結果について報告があった。

委員から、今次監査では、大きな指摘事項がなかったとのことであり、引き続き、気を引き締めて取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、今後も適切な財務事務に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、今回注意された点については、今後の対策に確実に生かしていただきたい旨の発言があった。

(2) 令和7年度山形県警察サイバーコンテストの開催について

令和7年度山形県警察サイバーコンテストの開催について報告があった。

委員から、サイバー空間を利用した様々な犯罪が発生している現下の情勢では、職員の対処能力向上を図る今回のような取組は、大変重要なため、今後も継続していただきたい旨の発言があった。

委員から、今回のような取組を通じて、サイバー事案への対応力強化に向けては、人的基盤を強化していただきたい旨の発言があった。

委員から、コンテスト参加職員が、各所属で指導的な役割を果たし、サイバー事案に対応できる職員の裾野を着実に拡大していただきたい旨の発言があった。

(3) 適正な死体取扱業務について

適正な死体取扱業務について報告があった。

委員から、死体取扱業務は、犯罪死の見逃し防止等のため欠くことができない重要な業務である一方で、担当職員が負う心身のストレスは大きいと推察されるため、担当職員のケアに十分配慮していただきたい旨の発言があった。

委員から、死体取扱業務は、死体の見分等を通じ、事件性の有無を判断するというミスが許されない業務である。担当職員の疲労感は大きいと推察されるため、職員が誇りを持って業務に邁進できるよう、引き続き必要な業務改善に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、死体取扱業務は、大変な業務であるが、率先して配置を希望する職員が増えるよう、目を配っていただきたい旨の発言があった。

(4) 高齢者交通事故防止推進強化旬間の実施結果について

高齢者交通事故防止推進強化旬間の実施結果について報告があった。

委員から、冬期間は視認性が低下し、夕暮れ以降の交通事故多発が懸念されるため、高齢者を中心とした歩行者の保護、夜光反射材の普及等に取り組んだのは、大変良い視点であり、引き続き時候に応じた効果的な施策に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、「地域全体で高齢者を見守る環境をつくる」との本運動の趣旨を根付かせるため、地域全体で知恵を絞り、高齢者の交通事故防止に向けて様々な施策が展開されていくことを期待したい旨の発言があった。

委員から、今後も、高齢者の特性を踏まえた効果的な運動に取り組んでいただきたい旨の発言があったほか、高齢者自身に、自己の身体状況等の自覚を促す取組にも引き続き取り組んでいただきたい旨の発言があった。

(5) 「令和7年度山形県国民保護共同図上訓練」への参加について

「令和7年度山形県国民保護共同図上訓練」への参加について報告があった。

委員から、こうした訓練を通じて、訓練に参加する団体・機関等との連携の深化を図っていただきたい旨の発言があった。

委員から、緊急事案が発生すれば、関係団体・機関が迅速に情報共有し、対応しなければならない旨の発言があったほか、今回の訓練で、相互の一つ一つの動きをよく確認、点検し、いざという時に有機的な活動ができるようにしていただきたい旨の発言があった。

委員から、他国からのミサイル攻撃等、想定され得る有事に備える訓練であることをよく認識し、訓練に臨んでいただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 審査請求の裁決について
警察本部から、審査請求に係る裁決について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 県監査委員による定期監査の受監結果について
警察本部から、県監査委員による定期監査の受監結果について説明があった。
- 統計資料について
警察本部から、統計資料について説明があった。
- ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況等について
警察本部から、ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況等について報告があった。
- 公安委員会宛て苦情の受理について
警察本部から、公安委員会宛て苦情の受理について報告があった。